

2009年10月17日
第1回クリーン散歩(仮称)
活動報告書



内閣府特定NPO法人 ConoasS
ホームページ <http://www.conoass.or.jp>

【Ⅰ.活動日時】 2009年10月17日 16:00ー17:30

【Ⅱ.活動場所】

・集合場所
大阪府泉南郡熊取町役場

・クリーン散歩コース
地域住民の方から情報をいただき、特に糞の多い右図赤線(図右下)コース及び周辺の公園に決定。



＜提供:国土交通省国土地理院電子国土＞

【Ⅲ.活動目的】

次の問題点を解決する為に、クリーン散歩を行いました。

・道端や公園に放置されている犬や猫の糞の多さ

解決手段・・・地域の住民の方と一緒に放置されている犬・猫の糞及びゴミを回収する。
クリーン散歩を行うことで地域の犬飼い主のマナー向上を図る。

・野良犬や野良猫の多さ、及び各自治体保健所で殺処分される犬や猫の多さ

解決手段・・・クリーン散歩活動中、地域住民の皆様に 野良犬・猫の現状や保健所の現状をお話し、命の尊さを考えていただき、飼っている犬猫はもちろんのこと野良犬・猫を安易に保健所に連れて行かないようにしてもらうことで、保健所での犬猫殺処分数を減少させる。(その他、TNROプログラムの実施。)
※TNROプログラムとは、対象となるエリアの野良犬・野良猫を保護し、検査した後、去勢避妊手術を施し、保護した場所に戻す。その後、対象エリアの観察を行いそのエリアの野良犬・野良猫を減少させるプログラムです。

【Ⅳ.活動内容】

大阪府泉南郡熊取町役場に集合し、まず地域住民の方から放置されている糞が多い場所等の情報収集を行い、クリーン散歩のコースを決定しました。

最初から参加していただいた方以外にも、途中参加していただいた方も含め、皆様と放置されている糞及びゴミを回収し、上記コース及び公園を清掃しました。

目的の一つであります“野良犬・猫の現状及び保健所の現状”についても、理事長が糞やゴミを拾いながら、参加者様にお話致しました。

また糞やゴミを回収する用具や袋などはConoasスタッフがすべて準備したのですが、途中参加していただいた方々の中には、ご自身の袋で放置されている糞を拾い、ご自宅に持って帰ってくださった方もおられました。

【V.活動報告】

・参加者：延べ9名、(犬3匹)

・行程：大阪府泉南郡熊取町役場周辺
全行程約2km

・回収した糞：約8kg

右写真のように放置されている糞が局所的に固まっている箇所も多数ありました。(赤丸&矢印が放置された糞)このような場所に放置されている糞の大きさや形状は良く似たものばかりであることから、おそらく同じ犬が毎日同じ場所に糞をし、飼い主はそれを放置しているように思われます。

・所感：クリーン散歩中に野良犬は見当たりませんでしたが、放置された糞は非常に多く、その殆どがマナー意識の低い飼い主が放置した糞と思われる。

クリーン散歩活動途中、途中参加していただける方もおられましたが、私たちの前方遠くを散歩している飼い主が自分の飼っている犬の糞をそのまま放置するような残念な姿も見られました。今回は注意や指導は行わず、私たちがその犬の糞を回収しました。

やはり道端や公園に放置されている糞を減らす為には、飼い主のマナーの向上が先決問題であることが改めて認識されました。



クリーン散歩コース途中、一か所に6個の放置された糞

【VI.展望】

・飼い主のマナーについて

今後、熊取町でも継続的にクリーン散歩を行い、できるだけ多くの住民の方に参加していただくことで、“クリーン散歩”の知名度を上げ、熊取町地域のマナー向上に繋げていきます。

自治会や他団体との協力体制を築き、放置されている糞が多い場所には、糞を放置しないように警告するプレートを展示する予定です。

・野良犬や猫の殺処分について

今回、クリーン散歩中に“表題の問題”についてゆっくり参加者様とお話できませんでしたので、今後は“野良犬・猫の現状や保健所の現状”を資料にまとめ、クリーン散歩中にお話できなかった場合は、資料をお渡しするようにします。



回収した糞の一部(約3kg)を堆肥化する為、保管中

・回収した糞について

今回、回収しましたゴミはゴミ回収業者に引き取っていただきましたが、糞については堆肥として再利用できないか一部(上写真)を保管中です。堆肥化など再利用方法がありましたら、Conoas事務局(0120-79-37-32)までご意見いただけると幸いです。